

円位で買って来て色々外し、特注の大きなリアスプロケットと、リアシヨックをCS90の物に換え、アツプマフラーにしてハンドルもフラットタイプに換えたりして日光のダートロードに行き遊んだりしました。その後、水戸でハーレーのパンヘッドを中古で購入してチョッパーに改造し、これもよく日光方面に繰り出したものです。映画「イメージライダー」が日本で上映される前で、雑誌『ポパイ』に本場のヘルズ・エンジェルスの写真が載っていて、それに魅了され影響を受けました。

21歳の時、CB750K0が発売され、友達のSが先に買ったので自分も買い、シートもビニールも剥がさない内にエンジンとフレームだけ残り、又もやチョッパーに改造!! 当時の私達の改造は斬新で、友人Sがフロントフォークとマフラーだけを改造し、2人乗りで横浜まで行った時もせいぜい口ポットハンドルを付けた位のバイクにしか会わず、周りの視線を集めまくった事を思い出します。その後、

清里往復ノントラブル!!



①



②



③



④



⑤



⑥

①「1920年代のオートバイとしてはかなりの高性能」という4バルブエンジンは東北道上限の実測120km/hを確認。②ハンドシフト、左リアブレーキ。フューエルタンクは内部の錆が酷くて、栃木の職人に依頼してワンオフアルミ製作。③「エンジンはかなりパワーがある一方、自転車用みたいなブレーキは超ブア」④「夜間走行は危険なアセチレンヘッドライトのため、昼間のみ走行」。スピードメーターはBONNIKSEN製の機械式。⑤敷地内に建つログハウスタイプの作業小屋。溶接、旋盤はお手の物。⑥言葉を失うガレージの中。

私のCB750チョッパーと友達S、KのCB350改チョッパーで北海道一周の旅にも行きました。

22歳でブルーバード410のSSSを低くし、5月の富士グランドチャンピオンレースを見に行きました。23歳の頃はフェアレディSR311にハードトップを付け、無理矢理サーフボードを載せて茨城の阿字ヶ浦までよくサーフィンをしに行きました。この頃家庭を持ち、子供も出来、以来車は二十数台を乗り換える事になります。

このアストンマーチンDB2/4MKⅢは007の原作者、イワン・フレミングがボンドカーとして原作に登場させている車です。丸みのある車体やフロントグリルがイタリア車風で気に入り、2002年に東京の某ショップより手に入れ、地元イベントや東北のイベントに参加して特に愛着があります。以前、千葉のイベントに行く途中に高速でエンジンが壊れ、地元栃木の「スクーデリアオールドタイム」で直して貰いました。